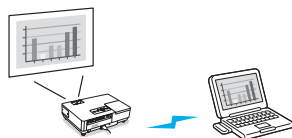


EMP-1815

かんたん接続ガイド



本書では、ネットワークを使って、コンピュータとプロジェクターを簡単に接続する方法を説明しています。接続してからの操作方法についての詳しい説明は、『EasyMP 活用ガイド』の「ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写する」をご覧ください。

まず以下のものをご用意ください

☐ 『EasyMP Software』 CD-ROM(同梱)

☐ コンピュータ

- ネットワーク接続ができるもの
- 内蔵の無線 LAN があるか、無線 LAN カードをセットできるもの
- 次ページ記載のソフトウェアの動作条件を満たすもの

『EasyMP Software』 CD-ROM の内容

必ずインストール

EMP NS Connection

プロジェクターとネットワーク接続するのに必要なソフトウェアです※¹。

必要に応じて

EMP SlideMaker2

プレゼンテーション用のシナリオを作成するソフトウェアです。プロジェクターのPCFree機能で投写できます※¹。

必要に応じて

EMP Monitor

コンピュータからプロジェクターの状態を遠隔監視するソフトウェアです※²。

※¹ 操作の詳細 ● 『EasyMP 活用ガイド』

※² 操作の詳細 ● 『EMP Monitor 操作ガイド』

目次

コンピュータ側の準備	2
プロジェクター側の準備	5
接続しよう (Windows/Macintosh)	8
切断するには	10
USB ケーブルで接続しよう (Windows)	11
EasyMP 機能を使ってできること	12
無線 LAN 利用時のご注意	13

コンピュータ側の準備

ソフトウェアの動作条件

以下の条件を満たすコンピュータで動作します。

	EMP NS Connection USB Display ※ 4	EMP SlideMaker2 ※ 3	EMP Monitor
OS	Windows 2000 SP4/XP/XP SP1/ XP SP2 ----- Macintosh Mac OS X 10.3 以上 推奨：Mac OS 10.4.5 以上 / 10.3.9	Windows 98/98 SE/Me/2000/XP	Windows 98 SE/Me/ NT4.0/2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Internet Explorer Ver.5.0 以 降搭載
CPU	Windows Mobile Pentium III 1.2GHz 以上 推奨：Pentium M 1.2GHz 以 上 ----- Macintosh Power PC G3 900MHz 以上	Celeron 300MHz 以上 推奨：Celeron 400MHz 以上	Pentium MMX 166MHz 以 上 推奨：Pentium II 233MHz 以上
メモリ 容量	256MB 以上 推奨：512MB 以上	64MB 以上 推奨：128MB 以上	64MB 以上
ハード ディスク 空き容量	20MB 以上	12MB 以上	50MB 以上
ディス プレイ	XGA(1024 × 768) 以上の解 像度 16 ビットカラー以上の表示 色約 32000 色の表示色		SVGA(800 × 600) 以上の 解像度 32 ビットカラー以上の表 示色

※3 PowerPointファイルを利用する場合は、Office2000、XP、2003、PowerPoint2000、2002、2003
のどれかが必要です。

※ 4 『EasyMP Software』 CD-ROM には収録されていません。プロジェクターからダウンロードし
ます。  p.11

Macintosh には対応しておりません。

EasyMP Software のインストール

- Windows 2000/NT4.0/XPをお使いの場合は、管理者権限のユーザーでインストールしてください。
- 常駐アプリケーションはすべて終了しておいてください。

操作

- 1 コンピュータの電源を入れます。
- 2 コンピュータに『EasyMP Software』CD-ROMをセットします。

Windows のとき

自動的にセットアッププログラムが起動します。

Macintosh のとき

「EPSON」ウィンドウで、「Installer for Mac OS X」アイコンをダブルクリックします。セットアッププログラムが起動します。

インストールが始まります。以降は画面の指示に従って進めてください。

- インストールするソフトを選択する画面で「インストール」をクリックします。
- 使用許諾画面で「はい」をクリックするとインストールが続行します。
- 「EPSON Virtual Display の追加と削除」画面では使用する仮想ディスプレイを選択します。

● 「仮想ビデオドライバ」は、「マルチスクリーンディスプレイ」機能に必要なドライバです。ここでインストールしない場合は、後からインストールすることもできます。（「スタート」-「プログラム」-「EPSON Projector」-「EPSON Virtual Display の追加と削除」を選択）

● インストールした仮想ディスプレイが最大4つを選択した場合、お使いのコンピュータの環境によっては動作速度が遅くなる場合があります。



起動 (Windows)



使用許諾画面

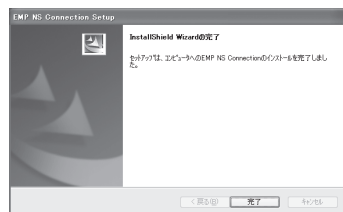


Virtual Display 追加と削除



3 「完了」ボタンをクリックするとインストールが終了します。

続いてSlideMaker2、EMP Monitorのインストールが始まります。画面の指示にしたがって進めてください。



セットアッププログラムの完了

こんなときには

この画面が表示されたら



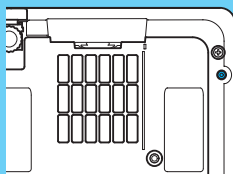
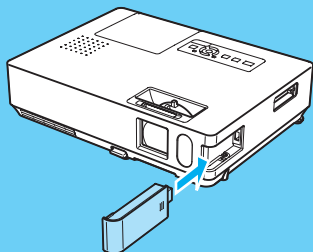
必ず「はい」(Windows 2000) または「続行」(Windows XP) を選択してください。

セットアッププログラムが起動しない場合

「スタート」－「ファイル名を指定して実行」で「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開き、「CD-ROMのドライブ名:\Epssetup.exe」を指定して「OK」ボタンをクリックしてください。

プロジェクター側の準備

無線 LAN で接続するには、プロジェクターに無線 LAN ユニットを取り付けます。



付属の無線 LAN ユニットの向きを確認して、本機に取り付けてください。

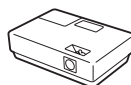
プロジェクターのネットワーク設定を確認する

ここでは、リモコン（同梱）での操作方法で無線 LAN の設定について説明しています。

[] ボタンで移動し、[決定] ボタンで確定して操作します。

操作

1 リモコンの「電源」ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。

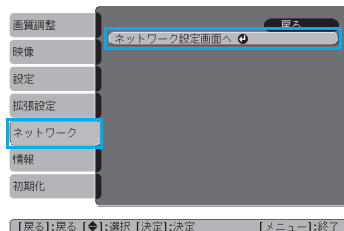


2 リモコンの「メニュー」ボタンを押します。

環境設定メニューが表示されます。

3 「ネットワーク」を選択します。

ネットワークメニューが表示されます。



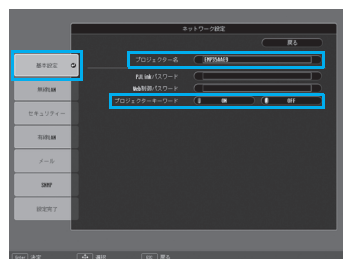
4 「ネットワーク設定へ」を選択します。

ネットワーク設定画面が表示されます。

環境設定メニュー

5 「基本設定」を選択し、「プロジェクター名」「プロジェクターキーワード」を設定します。

項目の説明は下記をご覧ください。

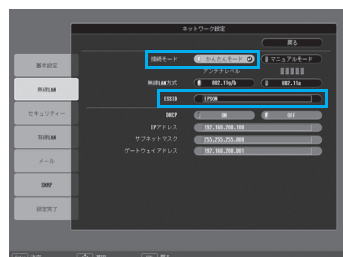


ネットワーク設定画面

6 「無線 LAN」を選択し、「ESSID」を設定します。

有線 LAN の場合は、「有線 LAN」を選択し、各項目を設定します。

項目の説明は次ページをご覧ください。



ネットワーク設定画面

7 リモコンの【メニュー】ボタンを押します。

環境設定メニューが閉じます。

ネットワーク設定の「基本設定」画面

項目	解説
プロジェクター名	プロジェクターの名前です。ここで設定した名前が、接続するときのプロジェクター一覧に表示されます。 EMPxxxxxx(xxxxxx は固有の数字)が表示されています。 わかりやすい名前に変更してください。 英数字で入力します。 入力例：EPSON001
PJLink パスワード	設定する必要はありません。
Web 制御パスワード	設定する必要はありません。
プロジェクターキーワード	「ON」ネットワーク経由で接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。この機能を使うと、予定外のコンピュータからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常は「ON」に設定してお使いください。

ネットワーク設定の「無線 LAN」画面

項目	解説
接続モード	モードを指定します。
アンテナレベル	無線 LAN の電波強度が表示されます。
無線 LAN 方式	無線 LAN 方式をコンピュータの方式と同じに指定します。
ESSID	「EPSON」と表示されています。そのままでも、変更してもかまいません。
DHCP	DHCP を使用する (オン) / しない (オフ) を設定します。
IP アドレス	プロジェクターに割り当てる IP アドレスを入力します。以下は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)
サブネットマスク	プロジェクターのサブネットマスクを入力します。以下は使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイの IP アドレスを入力します。以下は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)
DNS サーバー (プライマリ) / DNS サーバー (セカンダリ)	設定する必要はありません。

ネットワーク設定の「有線 LAN」画面

項目	解説
DHCP	DHCP を使用する (オン) / しない (オフ) を設定します。
IP アドレス	プロジェクターに割り当てる IP アドレスを入力します。以下は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)
サブネットマスク	プロジェクターのサブネットマスクを入力します。以下は使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイの IP アドレスを入力します。以下は使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)

接続しよう (Windows/Macintosh)

操作

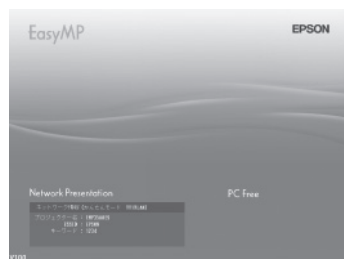


(プロジェクターの操作)

1 リモコンの「電源」ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。

2 リモコンの「EasyMP」ボタンを押します。

EasyMP 画面表示されます。



EasyMP 画面



(コンピュータの操作)

3 Windows のとき

「スタート」-「プログラム」- (または「すべてのプログラム」) -「EPSON Projector」-「EMP NS Connection」の順に選択します。

EMP NS Connection が起動します。

Macintosh のとき

EMP NS Connectionをインストールしたハードディスクボリュームから「アプリケーション」フォルダをダブルクリックし、EMP NS Connectionのアイコンをダブルクリックします。

EMP NS Connection が起動します。



起動中に右の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックしてください。

「はい」ボタンをクリックすると、EMP NS Connection がファイアウォールの例外として許可されて利用可能になります。

4 モードを選択して「OK」をクリックします。

プロジェクターが検索され、検索結果が表示されます。



EMP NS Connection 画面

5 接続するプロジェクターにチェックマークを付けます。

6 「接続する」ボタンをクリックします。

7 キーワードを入力する画面が表示されたら、プロジェクターの EasyMP 画面に投写されているプロジェクターキーワード(数字4けた)を入力し「OK」をクリックします。

コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続されます。

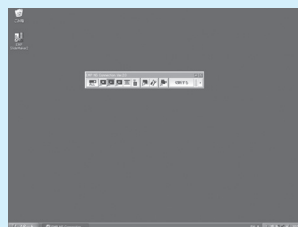
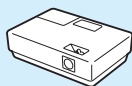
コンピュータの画面には、EMP NS Connection のツールバーが表示されます。このツールバーを使って、プロジェクターの操作や設定をしたり、ネットワーク接続を切断したりできます。

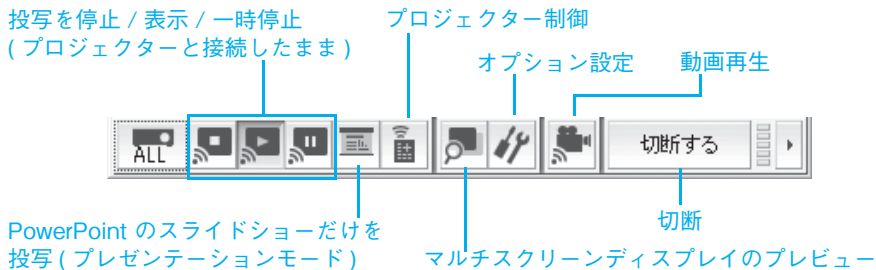
(手順 5)



(手順 6)

接続中の画面





こんなときには

目的のプロジェクターが見つからない場合

プロジェクターの電源が入っていて、EasyMP 画面が表示されているか確認してください。また、無線 LAN の電波が届かない (弱い) 可能性があります。プロジェクターとの距離が離れすぎていないか確認してください。

表示されるプロジェクターの数が多すぎる場合

次の操作をして絞り込んで検索できます。

- ①「指定検索」をクリックします。
- ② 目的のプロジェクターの ESSID を入力して、「決定」ボタンをクリックします。

切断するには

操作



コンピュータから切断する

ツールバーの「切断する」をクリックします。



プロジェクターから切断する

1 リモコンでの「戻る」ボタンを押します。

終了メニューが表示されます。

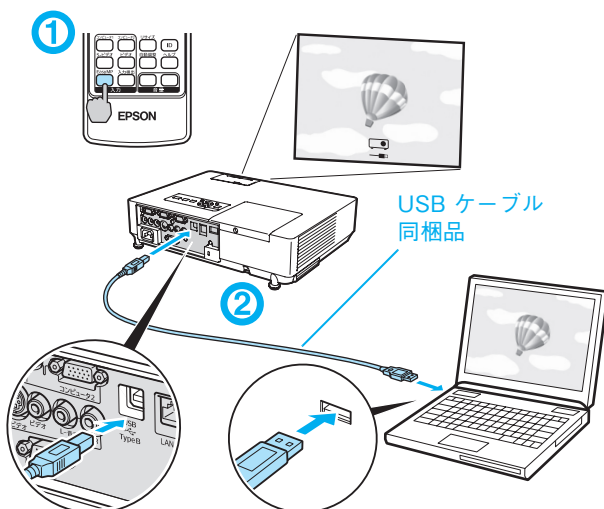
2 「終了する」を選択して、リモコンの「決定」ボタンを押します。

USB ケーブルで接続しよう (Windows)

初めて接続するコンピュータの場合

- プロジェクターとコンピュータをUSBケーブルで接続すると、アプリケーションのインストールを自動的に開始します。
- インストールを中止したいときは、「使用許諾契約画面」表示時に「同意しない」を選択してください。
- 自動で開始しないときは、「マイコンピュータ」－「EPSON_PJ_UD」－「EMP_UD.EXE」をダブルクリックします。
- 「デジタル署名警告」が表示されたら、「続行」を選択してください。

※コンピュータ、プロジェクターは電源がオンの状態です。



切断するには

- USB ケーブルを抜くだけで切断できます。

アプリケーションをアンインストールする場合

- 「スタートメニュー」－「EPSON USB Display」－「EPSON USB Display の削除」で行います。

注意

- ハブなどを経由した接続ではなく、直接プロジェクターとコンピュータを接続してください。
- コンピュータのUSBの規格がUSB1.1の場合は画質や転送速度が落ちます。USBの規格がUSB2.0のコンピュータでの使用をおすすめします。
- コンピュータの仕様によって、接続できない場合があります。

EasyMP 機能を使ってできること

EasyMP 機能を使うと、プロジェクターの活用場面が大きく広がります。

ネットワークでプロジェクターとコンピュータを接続

有線または無線 LAN でネットワーク接続ができ、以下のような使い方ができます。

- 1 台のコンピュータに最大 4 台のプロジェクターを接続して、同じ映像を同時に投写できます。
- 1 台のコンピュータから複数の異なる映像をプロジェクターに投写できます。☛ 『EasyMP 活用ガイド』「マルチスクリーンディスプレイ機能を使う」
- コンピュータから動画ファイルを再生して投写できます。☛ 『EasyMP 活用ガイド』「コンピュータ内の動画を投写する（動画転送）」

コンピュータを使わずに投写

- 投写する映像を保存した USB メモリやコンパクトフラッシュカードをプロジェクターにセットするだけで投写できます。☛ 『EasyMP 活用ガイド』「PC Free を使ったプレゼンテーション」
- PowerPoint ファイルを SlideMaker2 でシナリオに変換し、USB メモリなどに保存して投写できます。☛ 『EasyMP 活用ガイド』「シナリオの準備 (EMP SlideMaker2 の使い方)」

USB ケーブルを接続して投写

- コンピュータケーブルでノートタイプのコンピュータと接続したときに出力切り替えをする必要がありません。☛ p.11

無線 LAN 利用時のご注意

接続可能な無線 LAN カードとアクセスポイントの条件

同梱の無線 LAN ユニットの、IEEE802.11g、802.11b および 802.11a に準拠した以下の製品と接続できます。

- 無線 LAN カード
- 無線 LAN 機能内蔵コンピュータ
- アクセスポイント

ただし、IEEE802.11g ではコンピュータで使用する無線 LAN 機器によって、アドホック接続できないことがあります。詳しくは各無線 LAN 機器の仕様をご確認ください。

同梱の無線 LAN ユニットの仕様

使用周波数帯域	2.4GHz 帯、5.2GHz 帯 (W52)、5.3GHz 帯 (W53)
変調方式	IEEE 802.11b : DS-SS 方式 IEEE 802.11a/g : OFDM 方式
想定干渉距離	20m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

電波に関する安全上の注意

同梱の無線 LAN ユニットを使用する際は、次の点に注意してください。

- 心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認した上で、お使いください。
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。お使いの前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認した上で、お使いください。
- 電子レンジの近くでお使いにならないでください。電子レンジから発生される電磁妨害により、正しく無線通信できなくなります。
- 飛行機での使用は国によって制限される場合があります。お使いの前に、制限がないかを十分に確認した上で、お使いください。

周波数に関する使用上の注意

同梱の無線 LAN ユニットの使用周波数帯は、2.4GHz 帯 / 5GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

無線 LAN を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、この無線 LAN から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用をやめ電波の発生を停止してください。

その他、この無線 LAN から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

国外へ持ち出す場合の注意

無線 LAN ユニットは販売国の仕様にに基づき同梱されています。

無線 LAN ユニットは、使用する国によりチャンネル番号や使用周波数に制限があります。同梱の無線 LAN ユニットを販売国以外で使用する場合は最寄りのサポート窓口で確認をしてください。

電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

- 改造および分解の禁止（アンテナ部分を含む）
- 適合証明ラベルの剥離
- IEEE 802.11a (5GHz 帯) の屋外使用

無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次の行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

本機でのセキュリティの設定について  『EasyMP 活用ガイド』「無線 LAN のセキュリティ対策」

セキュリティの設定などについて、お客様がご自分で対処できない場合には、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

EPSON

この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。



Printed in China
410838800
XX.XX-XA(G04)